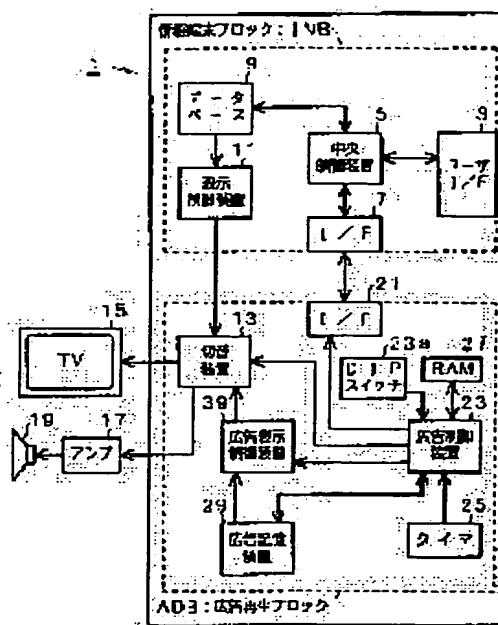


(11)Publication number : 08-171374
(43)Date of publication of application : 02.07.1996

(21)Application number : 06-313475	(71)Applicant : EKUSHINGU:KK BROTHER IND LTD
(22)Date of filing : 16.12.1994	(72)Inventor : AOYAMA YASUTADA TANIGUCHI TOSHINORI

(57)Abstract:

CONSTITUTION: This device consists of an advertisement storage device 29 where conditional advertisement data 31 where reproducing condition data 35 is added to advertisement data is stored, an advertisement controller 23 which sets a retrieval condition corresponding to the reproducing condition and extracts conditional advertisement data 31 having the reproducing condition data 35 meeting the set retrieval condition from the advertisement storage device 29, and a switching device 13 which reproduces advertisement information based on advertisement data of extracted conditional advertisement data 31. For example, 'reproducing on Saturday and Sunday' is set as the reproducing condition and is added to advertisement data as reproducing condition data 35 to obtain conditional advertisement data 31. When a reproducing condition of a week is set as the retrieval condition, conditional advertisement data 31 having the reproducing condition data 35 is extracted and reproduced.



[Date of request for examination]	24.03.1998
[Date of sending the examiner's decision of rejection]	31.10.2000
[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]	
[Date of final disposal for application]	
[Patent number]	
[Date of registration]	
[Number of appeal against examiner's decision of rejection]	

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-171374

(43) 公開日 平成8年(1996)7月2日

(51) Int.Cl.⁶

G 0 9 G 5/00

識別記号

5 1 0 B

庁内整理番号

9377-5H

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平6-313475

(22) 出願日 平成6年(1994)12月16日

(71) 出願人 593118601

株式会社エクシング

愛知県名古屋市昭和区桜山町6丁目104番地

(71) 出願人 000005267

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

(72) 発明者 青山 泰忠

愛知県名古屋市昭和区桜山町6丁目104番地 株式会社エクシング内

(72) 発明者 谷口 利典

愛知県名古屋市昭和区桜山町6丁目104番地 株式会社エクシング内

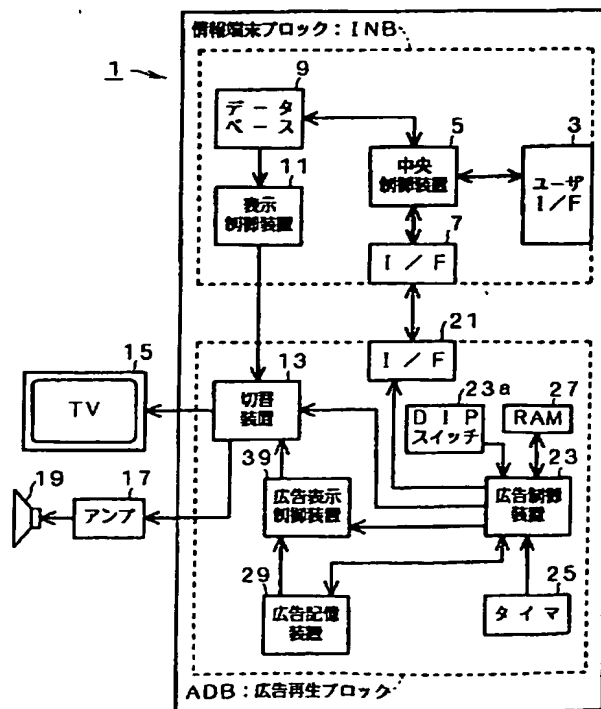
(74) 代理人 弁理士 足立 勉

(54) 【発明の名称】 広告再生装置

(57) 【要約】

【目的】 再生装置側で個々のCMの再生時間帯、回数、期間などの再生条件に従ってCMをタイムリーに提供し、広告効果の向上を図ること。

【構成】 本広告再生装置では、広告記憶装置29には、広告データに再生条件データを付加した広告データが記憶されており、広告制御装置23は、設定された検索条件に適合する再生条件データを有する広告データ31を広告記憶装置29から抽出すると共に、抽出された広告データ31に基づいて広告情報を再生する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の広告データから抽出された広告データに基づいて広告情報を再生する広告再生装置において、

前記広告データに再生条件データを付加した条件付広告データを記憶する記憶手段と、

前記再生条件に対応する検索条件を設定する検索条件設定手段と、

前記設定された検索条件に適合する前記再生条件データを有する前記条件付広告データを前記記憶手段から抽出する抽出手段と、

該抽出された条件付広告データの前記広告データに基づいて広告情報を再生する再生手段とを設けたことを特徴とする広告再生装置。

【請求項2】 時刻を算出する時計手段を設け、

前記検索条件設定手段は、該時計手段によって算出された時刻を検索条件として設定し、

前記条件データが前記広告データを再生すべき時刻の範囲を特定する再生時刻データを含むことを特徴とする請求項1記載の広告再生装置。

【請求項3】 月日を算出する暦手段と、

前記検索条件設定手段は、該暦手段によって算出された月日を検索条件として設定し、

前記条件データが前記広告データを再生すべき月日の範囲を特定する再生月日データを含むことを特徴とする請求項1記載の広告再生装置。

【請求項4】 前記時計手段は前記暦手段を兼ねて月日および時刻を算出し、

前記検索条件設定手段は、該時計手段によって算出された月日および時刻の双方または一方を検索条件として設定し、

前記条件データが前記広告データを再生すべき月日の範囲および時刻の範囲の双方または一方を特定する再生時期データを含むことを特徴とする請求項1記載の広告再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、例えば街頭端末やカラオケ装置等の不特定多数の利用者を想定した情報出力装置に装備されて、この情報出力装置が本来の用途に使用されていないアイドル状態にあるときを利用して広告情報を再生する広告再生装置に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、コマーシャル（以降CMという）は放送業界においては、広告主と例えばテレビ局等の広告配信者との契約のなかでCMを流す期間、回数、そして時間帯などが規定される場合が多い。広告配信者は広告主より提供される広告を契約に従って、例えば2カ月間にわたって夜8時から10時の時間帯に合計400回という条件で広告を放送する。また、街頭情報端末につ

いてはサービスを行わないアイドル時間を利用して広告の内容に関わらず順次、蓄積された広告情報を再生していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、放送による広告が、放送する時間、時期などを予めプログラムされて厳密に管理されているのに対して、複数の広告データを蓄積しその中からランダムに抽出した広告データを表示再生する街頭端末などでは、蓄積された広告データをどの時間帯に、何回、いつの時期に再生表示するかは、考慮されていなかった。従って、時間帯によって客層が変わる場合などにその客層に合わせた適切な広告を流すことができなかった。また、蓄積された広告データを、いつからいつまでの期間、何回再生すればよいかといった管理を端末側ではできないという問題があった。

【0004】本発明は、街頭端末等を使用する広告再生装置において、各々の広告データについて再生条件に関わる再生条件データを付加することにより、再生装置側で個々のCMの再生時間帯、回数、期間などの再生条件に従ってCMをタイムリーに提供し、広告効果の向上を図ることを目的となされた。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するための手段として、請求項1記載の広告再生装置は、複数の広告データから抽出された広告データに基づいて広告情報を再生する広告再生装置において、前記広告データに再生条件データを付加した条件付広告データを記憶する記憶手段と、再生条件に対応する検索条件を設定する検索条件設定手段と、前記設定された検索条件に適合する前記再生条件データを有する前記条件付広告データを前記記憶手段から抽出する抽出手段と、該抽出された条件付広告データの前記広告データに基づいて広告情報を再生する再生手段とを設けている。

【0006】請求項2記載の広告再生装置は、請求項1記載の広告再生装置において、時刻を算出する時計手段を設け、前記検索条件設定手段は、該時計手段によって算出された時刻を検索条件として設定し、前記条件データが前記広告データを再生すべき時刻の範囲を特定する再生時刻データを含んでいる。

【0007】請求項3記載の広告再生装置は、請求項1記載の広告再生装置において、月日を算出する暦手段と、前記検索条件設定手段は、該暦手段によって算出された月日を検索条件として設定し、前記条件データが前記広告データを再生すべき月日の範囲を特定する再生月日データを含んでいる。

【0008】請求項4記載の広告再生装置は、請求項1記載の広告再生装置において、前記時計手段は前記暦手段を兼ねて月日および時刻を算出し、前記検索条件設定手段は、該時計手段によって算出された月日および時刻の双方または一方を検索条件として設定し、前記条件デ

ータが前記広告データを再生すべき月日の範囲および時刻の範囲の双方または一方を特定する再生時期データを含んでいる。

【0009】

【作用】上記の構成になる請求項1記載の広告再生装置においては、記憶手段は、広告データに再生条件データを付加した条件付広告データを記憶する。検索条件設定手段は、再生条件に対応する検索条件を設定する。抽出手段は、設定された検索条件に適合する再生条件データを有する条件付広告データを記憶手段から抽出する。再生手段は、抽出された条件付広告データの広告データに基づいて広告情報を再生する。

【0010】再生条件として例えば「土曜日、日曜日に再生する」を設定し、これを再生条件データとして広告データに付加して条件付広告データとし、検索条件として当日の曜日を設定すれば、「土曜日、日曜日」になると、この再生条件データを有する条件付広告データが抽出されて再生される。同様に、再生条件と検索条件の設定に応じて、所望の再生時間帯や期間などを選定して広告再生できるので、CMをタイムリーに提供し、広告効果の向上を図れる。

【0011】請求項2記載の広告再生装置においては、時計手段は時刻を算出し、条件設定手段は、時計手段によって算出された時刻を検索条件として設定する。条件データには、広告データを再生すべき時刻の範囲を特定する再生時刻データが含まれている。

【0012】例えば再生すべき時刻の範囲を10時～14時としてこの範囲を再生時刻データとして広告データに付加して条件付広告データとし、検索条件として時計手段にて算出される時刻を設定すれば、10時～14時の範囲で、この再生条件データを有する条件付広告データが抽出されて再生される。このように、各広告データ毎に特定の時間帯を選定して広告再生できるので、例えば街頭端末等の時間帯による利用者層に応じた広告データを選定して広告再生することができる。

【0013】請求項3記載の広告再生装置においては、暦手段は月日を算出し、条件設定手段は、暦手段によって算出された月日を検索条件として設定する。条件データには、広告データを再生すべき月日の範囲を特定する再生月日データが含まれている。

【0014】例えば再生すべき月日の範囲を1月～2月としてこの範囲を再生時刻データとして広告データに付加して条件付広告データとし、検索条件として暦手段にて算出される月日を設定すれば、1月～2月の範囲で、この再生条件データを有する条件付広告データが抽出されて再生される。このように、各広告データ毎に特定の月日の範囲を選定して広告再生できるので、例えば季節等に応じた広告データを選定して広告再生することができる。

【0015】請求項4記載の広告再生装置においては、

時計手段は暦手段を兼ねて月日および時刻を算出し、条件設定手段は、時計手段によって算出された月日および時刻の双方または一方を検索条件として設定する。条件データには、広告データを再生すべき月日の範囲および時刻の範囲の双方または一方を特定する再生時期データが含まれている。

【0016】これにより、例えば1月～2月に10時～14時の範囲で広告再生するといった期間と時間帯を特定しての広告再生ができる。また、月日の範囲あるいは時刻の範囲の一方を特定して、請求項2または3記載の構成と同様に作用させることもできる。したがって、一層きめ細かいタイミングでの広告再生が可能となる。

【0017】

【実施例】次に、本発明の広告再生装置を街頭端末と呼ばれる対話型情報提供装置において具体化した一実施例について図面を参照して説明する。図1に示すように、対話型情報提供装置1は、ユーザの要望に応じて情報を提供するための情報端末ブロックINBと情報端末ブロックINBによる情報提供がアイドル状態にあるときに広告を再生出力するための広告再生ブロックADBとを備えている。

【0018】情報端末ブロックINBには、タッチパネル（図示略）を有するユーザインタフェース（ユーザI/F）3が備えられており、ユーザはタッチパネルを操作することにより、このユーザインタフェース3を介して情報の提供を要求することができる。このユーザインタフェース3は、中央制御装置5と接続されている。この中央制御装置5はいわゆるCPUであり、図示しないROMに格納されているプログラム並びにユーザインタフェース3から入力された指令に応じてさまざまな制御処理を実行可能である。

【0019】この中央制御装置5には、インタフェース7およびデータベース9が接続されており、インタフェース7を介して広告再生ブロックADB側と信号の送受を行うことができる。データベース9は図示しないハードディスクを内蔵するハードディスクドライブ装置であり、ハードディスクに格納されている情報データを読み出すことができる。この情報データは、映像用データと音声用データとで構成されているが、各情報データには検索用のタグデータが含まれており、中央制御装置5がタグデータを指示することで、指示されたタグデータを有する情報データをデータベース9から出力させることができる。

【0020】データベース9には表示制御装置11が接続されており、データベース9から出力された情報データの映像用データおよび音声用データは、この表示制御装置11においてそれぞれ映像信号および音声信号に変換される。これら映像信号と音声信号とは、広告再生ブロックADB内に設けられている切替装置13へと送信される。切替装置13は、送信されてきた映像信号

をモニタテレビ(TV)15に出力し映像として表示させ、送信されてきた音声信号をアンプ17に出力する。アンプ17は、送信されてきた音声信号を増幅してスピーカ19から音声出力させる。

【0021】こうした構成により、情報端末ブロックINBは、ユーザインタフェース3を介してのユーザの要求に応じた情報データの出力をデータベース9に指令でき、この指令に応じてデータベース9から表示制御装置11へ出力された情報データが、表示制御装置11で映像信号と音声信号とに変換されて、モニタテレビ15で映像出力されスピーカ19から音声出力される。なお、情報データによっては音声用データを欠くものもあり、その場合は映像のみが出力されることになる。

【0022】次に、広告再生ブロックADBについて説明する。広告再生ブロックADBは、情報端末ブロックINB側のインタフェース7と接続されたインタフェース21を備えており、このインタフェース21は、広告再生ブロックADBの中核となる広告制御装置23に接続されている。

【0023】この広告制御装置23は、情報端末ブロックINBの中央制御装置5と同様にCPUであり、図示しないROMに格納されているプログラムに従ってさまざまな制御処理を実行可能である。広告制御装置23には、リアルタイムクロックであるタイマ25が接続されており、広告制御装置23はタイマ25が算出する暦日(年月日)および時刻(時、分、秒)を読込みできる。また、広告制御装置23にはRAM27が接続されており、広告制御装置23はRAM27にデータを出力して記憶させることとRAM27に記憶されているデータを読み出すことができる。

【0024】さらに、広告制御装置23には、図示しないCD-ROMを内蔵してCD-ROMに記録されているデータを読み出して出力できるCD-ROMドライブである広告記憶装置29が接続されている。このCD-ROMには、図2に示される構造の広告用データ31が複数記録されている。図2に示すように、広告用データ31は、広告用データ31を識別するためのタイトルデータ33、期間データ35a、時間帯データ35b並びに再生回数データ35cからなる再生条件データ35および1件分の広告(約15秒の再生時間)に対応する広告映像データと広告音声データとが含まれる広告データ37から構成されている。つまり、広告用データ31は、広告データ37に記録されている広告1件分毎に作成されており、CD-ROMには複数件の広告に対応する広告用データ31が記録されている。

【0025】再生条件データ35中の期間データ35aには、広告データ37に記録されている広告を再生出力すべき再生期間が記録されている。この再生期間は、年、月、日を単位として設定でき、1995年の1年間や1995年～1996年の2年間のように年を単位と

する設定、1995年1月や1995年1月～3月のように月を単位とする設定、1995年1月15日～1995年2月14日のように日を単位とする設定が可能である。

【0026】時間帯データ35bは、1日の内でいずれの時間帯に広告を再生出力すべきかを規定する再生時間帯が記録されており、この実施例では分単位での設定が可能となっている。具体的には、0時00分～23時59分の間で、任意の開始時分と終了時分を設定できる。

【0027】再生回数データ35cは、上述の期間データ35aで設定されている期間内に何回の再生出力が必要かが記録されており、その期間内に再生回数データ35cに記録されている回数だけ再生出力されることになる。ここで広告再生ブロックADBの説明に戻ると、図1に示すように、広告記憶装置29には広告表示制御装置39が接続されている。この広告表示制御装置39は、情報端末ブロックINBの表示制御装置11と同様に、広告記憶装置29から出力された広告データの広告映像データおよび広告音声データを、それぞれ映像信号および音声信号に変換して切替装置13に出力するものである。

【0028】したがって、切替装置13には、情報端末ブロックINBの表示制御装置11からと広告再生ブロックADBの広告表示制御装置39からとの2つの源からの映像信号および音声信号が入力されることになる。ただし、切替装置13は広告制御装置23からの指令によって回路を切替えて、表示制御装置11からの信号または広告表示制御装置39からの信号を択一的にモニタテレビ15とアンプ17に出力する。このため、モニタテレビ15の映像出力およびスピーカ19の音声出力が混乱することはない。

【0029】次に、上記の構成になる対話型情報提供装置1の動作について説明する。初めに、情報端末ブロックINBの動作について、中央制御装置5で実行される情報提供処理ルーチンのフローチャート(図3)を参照して説明する。対話型情報提供装置1が起動されると、中央制御装置5は図3に示される情報提供処理を実行する。まず中央制御装置5は、ユーザインタフェース3を介して入力される利用者からのリクエストを待つ(S10)。利用者のリクエストがあれば(S10でYES)、中央制御装置5はS20に移行して、インタフェース7、21を介して広告再生ブロックADBの広告制御装置23に広告再生中であるかを問い合わせる信号を出力し、これに回答して広告制御装置23から出力される応答信号に基づいて広告再生ブロックADBが広告再生中であるか否かを判定する。

【0030】広告再生ブロックADBが広告再生中であれば(S20でYES)、中央制御装置5はS30に移行して、広告再生ブロックADBの広告制御装置23に対して再生停止命令を出力する。一方、広告再生ブロッ

クADBが広告再生中でなかった場合（S20でNO）またはS30の処理を実行した後に、中央制御装置5はS40へ進む。なお、広告再生ブロックADBでの広告再生の停止に伴って、広告制御装置23は切替装置13に指令して、表示制御装置11からの信号をモニタテレビ15およびアンプ17に出力すべく回路を切替えさせている。

【0031】S40では、中央制御装置5は、ユーザインタフェース3を介して入力された利用者のリクエストに応じた情報データを、データベース9から検索する。この検索が完了すると、中央制御装置5は、広告再生ブロックADBからの再生終了を示すステータス信号の送信を待ち（S50）、ステータス信号を受信したならば（S50でYES）、S60へ移行してS40で検索した情報データの出力をデータベース9に指令する。データベース9から出力される情報データは、前述のようにしてモニタテレビ15に映像表示され、スピーカ19から音声出力される。

【0032】このように、情報端末ブロックINBは、ユーザインタフェース3を介して利用者からリクエストがあれば、広告再生ブロックADBの広告再生を停止させて、リクエストに応じた情報データをモニタテレビ15およびスピーカ19から出力する。

【0033】次に、広告再生ブロックADBの動作について、広告制御装置23で実行される広告再生処理ルーチンのフローチャート（図4）を参照して説明する。図4に示すように、対話型情報提供装置1が起動されると、広告再生ブロックADBの広告制御装置23は、タイマ25が算出したリアルタイムを讀込んで、その年月日時分をRAM27に転送して記憶させる（S110）。

【0034】次に広告制御装置23は、広告記憶装置29に蓄積されている複数の広告用データのヘッダ部分となっているタイトルデータ33および再生条件データ35を1つ1つ読み出して、S110でRAM27に記憶させた年月日を再生期間に含み、RAM27に記憶させた時分以後の30分間を再生時間帯に含む広告用データを抽出し、抽出した広告用データのタイトルデータをRAM27に記憶させる（S120）。

【0035】次に、広告制御装置23は、前ステップで抽出した広告用データの再生順を決定するためにRAM27上でのタイトルデータの並び替えによるランダム化を実行する（S130）。これらS110～S130の処理で広告再生に必要な一連の準備が整えた後、広告制御装置23は、情報端末ブロックINBが情報提供サービス中か否かのステータスを、インタフェース21、7を介して中央制御装置5から取得する（S140）。ここで、情報端末ブロックINBが情報提供サービス中であれば（S140でYES）、広告制御装置23は、設定された時間だけ待機してから（S150）、S140

に回帰して再度ステータスを取得する。

【0036】情報端末ブロックINBがサービス中でなければ（S140でNO）、広告制御装置23は、S120で抽出しておいた広告用データの中で再生順が最も早いものの広告データの出力を広告記憶装置29に指令する（S160）。広告記憶装置29から出力された広告データは、広告表示制御装置39に送られ、広告データの広告映像データは映像信号に変換され広告音声データは音声信号に変換され、それぞれ切替装置13に出力される。切替装置13は、映像信号をモニタテレビ15に出力し、音声信号をアンプ17に出力する。映像信号はモニタテレビ15にて映像表示され、音声信号はアンプ17で増幅されてスピーカ19から音声出力される。

【0037】こうして1件の広告データに基づく広告の再生が終了すると、広告制御装置23は、広告用データの再生順を示すポインタを1つ進める（S170）。続いて、広告制御装置23は、現在の時刻をタイマ25から読み込む（S180）。ここで読み込んだ時刻と前回読み込んだ時刻とを比較して（S190）、30分以上経過している場合には（S190でYES）、各広告用データの再生条件を見直して再度抽出するために、S120に戻る。また、経過時間が30分以内であれば（S190でNO）、S140に回帰してS190までの処理を繰り返す。

【0038】なお、広告データを1回再生する毎に、その広告用データの再生実績データが1ずつインクリメントされて記録される。この再生実績データが再生回数データと一致すれば、その広告用データに記録されている広告データが規定の回数だけ再生されたことになり、以後、この広告用データがS120の処理で抽出されることはなくなる。

【0039】以上のように、広告再生ブロックADBでは、広告用データの期間データおよび時間帯データに基づいて、広告データを設定された再生期間内の設定された再生時間帯に再生出力できる。再生条件に従ってCMをタイムリーに提供できるので、広告効果の向上を図れる。

【0040】しかも、再生期間並びに再生時間帯を特定して広告再生できるので、例えば季節等に応じた広告データを選定して広告再生することや対話型情報提供装置1の時間帯による利用者層に応じた広告データを選定して広告再生すること等きめ細かいタイミングでの広告再生が可能となる。

【0041】さらに、対話型情報提供装置1の情報端末ブロックINBがサービス中ではない＝アイドル状態にあるときにCMを提供するので、対話型情報提供装置1のアイドル時間を有効に活用できる。このように、本実施例の対話型情報提供装置1は上述の構成を備えることによって上述の作用、効果を発揮するが、この対話型情報提供装置1においては、広告再生ブロックADBが本

発明の広告再生装置に相当している。また、広告再生ブロックADB中の広告制御装置23が本発明の検索条件設定手段および抽出手段として機能し、広告記憶装置29が本発明の記憶手段に相当し、タイマ25が本発明の暦手段を兼ねる時計手段に相当し、切替装置13、モニタテレビ15、アンプ17、スピーカ19および広告表示制御装置39によって再生手段が構成されている。さらに、広告記憶装置29に記憶されている広告用データが本発明の条件付広告データであり、再生条件データ35が条件データである。

【0042】以上、実施例に従って、本発明について説明したが、本発明はこのような実施例に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲でさまざまな実施できることは言うまでもない。例えば、上記の実施例では広告再生装置を対話型情報提供装置（街頭端末）に組み込んでいるが、対話型情報提供装置に代えてカラオケ装置に広告再生装置を組み込んでよい。あるいは、市町村の役所で使用されている戸籍謄本や住民票の自動発行装置に本発明の広告再生装置を組み込んで、自治体の行事の案内等の広報活動の一環として利用することもできる。いずれの場合も、その装置（カラオケ装置等）が本来の用途に使用されていないアイドル時間を利用することになり、そのような装置の有効利用が可能となる。

【0043】また、上記の実施例では記憶手段としてCD-ROMを使用しているが、CD-ROMに代えてハードディスクやレーザディスク等を使用できる。この記憶手段としては記憶容量が大きくアクセスが速いことが望ましいが、広告データの総量が少なければ、ビデオテープ等を使用することもできる。同様に、記憶手段から抽出した広告用データのタイトルデータを記憶させるためにRAMを使用しているが、RAMに限定されるものではなく、随時の書き込みと読み出しが可能なメモリであればよい。

【0044】さらに、実施例では広告再生に当たっての時間帯の区分を30分で区切っているが、かならずしも30分で区切る必要はなく、15分、20分あるいは1時間等任意に区分してよい。なお、検索条件項目としては、上記に例示した期間データ、時間帯データおよび回数データの他に広告再生装置の設置場所に関するロケーションデータ、広告内容の分類（品目やサービスの種別）に関するジャンルデータ等、任意の検索条件項目を付加することや前述の期間データ、時間帯データおよび回数データ等のいずれかの検索条件項目を削除することも可能であり、それらの検索条件を、例えば検索条件項目設定手段としてのDIPスイッチ23aにより任意に設定できるようにしてもよい。要は、広告に応じてそれを再生すべきタイミングを特定できればよいのであり、*

* その条件付けに何等限定はない。

【0045】

【発明の効果】以上説明したように、請求項1記載の広告再生装置は、再生条件と検索条件の設定に応じて、所望の再生時間帯や期間などを選定して広告再生できるので、CMをタイムリーに提供し、広告効果の向上を図れる。

【0046】請求項2記載の広告再生装置は、各広告データ毎に特定の時間帯を選定して広告再生できるので、例えば街頭端末等の時間帯による利用者層に応じた広告データを選定して広告再生することができる。請求項3記載の広告再生装置は、各広告データ毎に特定の月日の範囲を選定して広告再生できるので、例えば季節等に応じた広告データを選定して広告再生することができる。

【0047】請求項4記載の広告再生装置は、期間と時間帯を特定しての広告再生ができる。また、月日の範囲あるいは時刻の範囲の一方を特定して、請求項2または3記載の構成と同様に作用させることもできる。したがって、一層きめ細かいタイミングでの広告再生が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 実施例の対話型情報提供装置の概略構成を示すブロック図である。

【図2】 実施例の対話型情報提供装置の広告再生ブロックに記憶されている広告用データのデータ構造の説明図である。

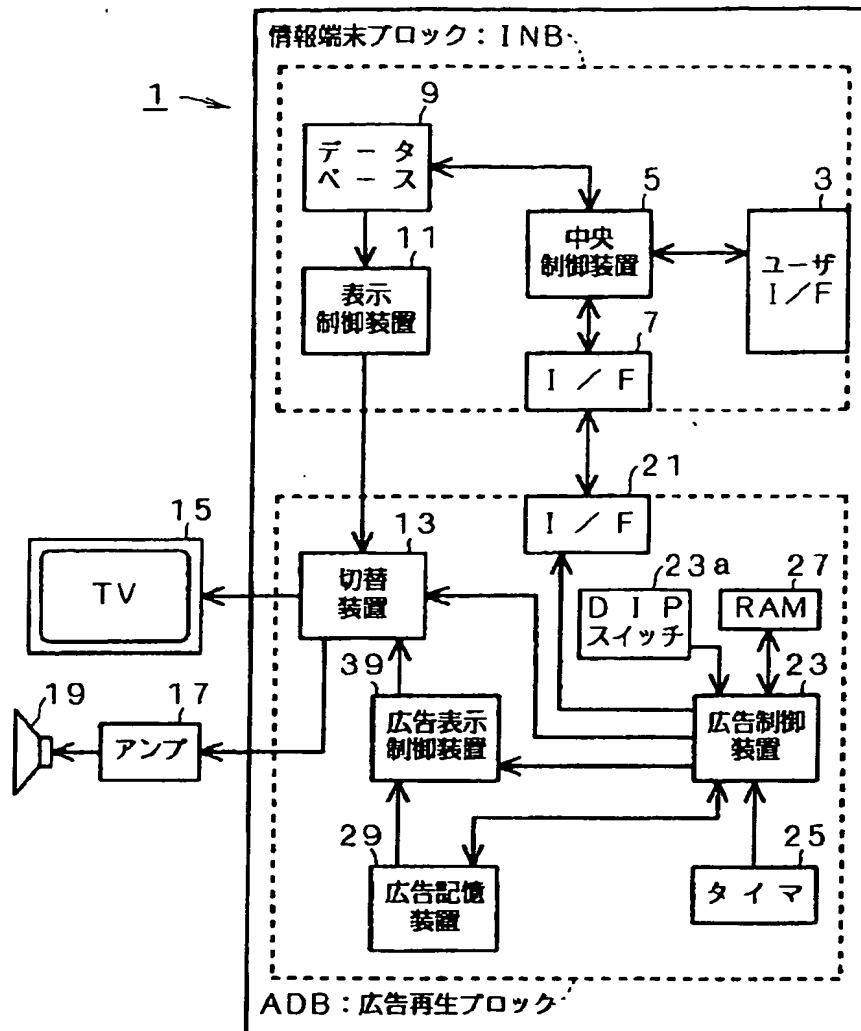
【図3】 実施例の対話型情報提供装置の情報端末ブロックで実行される情報提供処理ルーチンのフローチャートである。

【図4】 実施例の対話型情報提供装置の広告再生ブロックで実行される広告再生処理ルーチンのフローチャートである。

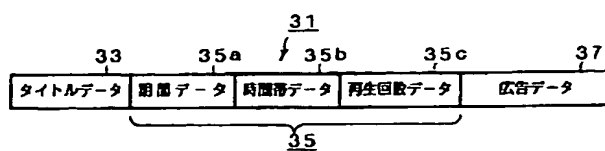
【符号の説明】

1・・・対話型情報提供装置（広告再生装置）、13・・・切替装置（再生手段）、15・・・モニタテレビ（再生手段）、17・・・アンプ（再生手段）、19・・・スピーカ（再生手段）、23・・・広告制御装置（検索条件設定手段、抽出手段）、25・・・タイマ（時計手段、暦手段）、29・・・広告記憶装置（記憶手段）、31・・・広告用データ（条件付広告データ）、33・・・タイトルデータ、35・・・再生条件データ（条件データ）、35a・・・期間データ（条件データ）、35b・・・時間帯データ（条件データ）、35c・・・再生回数データ（条件データ）、37・・・広告データ、39・・・広告表示制御装置（再生手段）、ADB・・・広告再生ブロック（広告再生装置）、INB・・・情報端末ブロック。

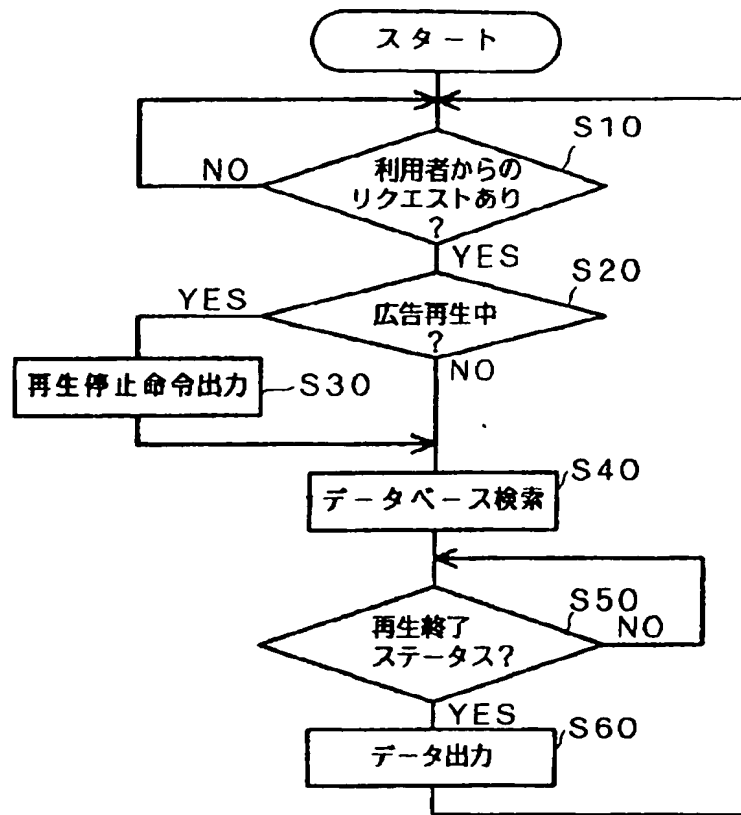
【図 1】



【図 2】



【図3】



【図4】

